

セキュリティガイドライン

1 利用者との責任分界点

当社の責任

当社は、以下のセキュリティ対策を実施します。

- サービスのセキュリティ対策
- サービス内に保管されたお客様データの保護
- サービスの提供に利用するミドルウェア、OS、その他インフラのセキュリティ対策

お客様の責任

お客様は、以下のセキュリティ対策を実施する必要があります。

- 各利用者に付与されたパスワードの適切な管理
- アカウントの適切な管理（登録、削除、管理者権限の付与など）

2 データ保管先

- お客様からお預かりしたデータは、以下のサービスに委託する可能性があります。なお、委託先は、当社の定めた基準を満たした委託先を選定し、適切に当社が管理します。
 - Amazon Web Services
- お客様からお預かりしたデータは、以下の国に保管される可能性があります。
 - 日本
 - シンガポール

3 装置の安全な処分

- 当社はお客様が利用した装置を廃棄する際には、適切な廃棄専門業者に依頼して確実な廃棄を行います。
- IaaS 等のクラウドサービス環境を利用している場合は、クラウドサービスプロバイダーに装置の適切な処理を確認します。

4 暗号化の状況

- データベースに保管される、お客様の各種情報（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータなど）は、暗号化されずに、適切なアクセス権のもとで保管されます。但し、パスワードは、不可逆暗

号化(ハッシュ化)された状態で、データベースに保管されます。

- お客様の端末と、システムとの間のインターネット通信は、TLS 通信(SHA256)によって暗号化されます。

5 マニュアルの提供

- お客様が利用できるマニュアルは、Web サイトで閲覧することが可能です。

6 ログのクロックに関する情報

- サービス内で提供されるログは、タイムゾーン JST(UTC+9)で提供されます。
- ログの時間は、信頼できる NTP サービス (Amazon Time Sync Service 等) と同期しています。

7 脆弱性管理に関する情報

- 当社は、システムで利用している OS、ミドルウェア等に関する脆弱性情報を、定期的に収集しています。
- システムで利用しているコンポーネントに対する脆弱性パッチが公開された場合は、社内で適用時期等の検討を行い、適用する場合は、テスト環境での検証を経た後、速やかに適用されます。

8 開発におけるセキュリティ情報

- 本サービスの開発は、社内の開発メンバーのみがアクセス可能な社内の開発標準に従って実施されます。
- 本サービスの開発は、外部の会社に委託せずに、社内の開発メンバーのみで行います。

9 インシデント発生時の対応

- お客様に大きな影響を与えるセキュリティインシデント(データの消失、長時間のシステム停止、情報漏洩等)が発生した場合は、インシデント発生後、72 時間以内を目標とし、障害報告の Web ページで通知します。
- 情報セキュリティインシデントに関する問合せは、サービス毎のカスタマーサポートにより 24 時間 365 日受け付けています。

10 適用法令

- お客様と当社との間の契約は、日本法に基づいて解釈されるものとします。

11 認証

- 当社は、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する ISMS 適合性評価制度における、ISMS 認証を取得¹しています。
- 当社は、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する ISMS 適合性評価制度における、ISMS クラウドセキュリティ認証を取得²しています。
- 当社は、BSI グループジャパン株式会社が実施する、ISO/IEC 27018 の審査を受審し、ISO/IEC27018 の導入ガイダンスを考慮した ISMS を実施していることを認証されています。

【ISMS クラウドセキュリティ認証登録範囲】

Active!gateSS,Active!vaultSS,Active!driveSS,Active!world サービスの提供に係るクラウドサービスプロバイダとしてのデータセンタ及びピアクラウドサービスプロバイダ上で稼働する仮想システムの運用・保守、及びアマゾンウェブサービスのクラウドサービスカスタマとしての利用に係る ISMS クラウドセキュリティマネジメントシステム

【ISO/IEC 27018 認証登録範囲】

メールシステム及びメールセキュリティに関するクラウドサービスの提供及び運営

12 外部クラウドサービスの利用

- 当社では、次に示す機能を運用するために、外部のクラウドサービスを利用しています。

クラウドサービス	機能	運営会社	情報
AWS	インフラ構築,運用	Amazon	お客様データ、システムログ 等

¹ https://isms.jp/1st/ind/CR_IS_x0020_586579.html

² https://isms.jp/isms-cls/1st/ind/CR_CLOUD_x0020_681574.html

改訂履歴

版	改訂日	改訂内容
1.0	2017/10/23	初版発行
2.0	2018/1/22	データ保管国を国内・海外に分けて記載
3.0	2018/10/17	ログのクロックに関する情報を変更
3.1	2019/04/12	インシデント通知について目標時間を設定
4.0	2019/9/17	認証情報、外部クラウドサービスの利用について追記
4.1	2019/10/7	セキュリティインシデントの例に情報漏洩を追記
4.2	2019/11/11	データ保存先の国について編集